

あれこれ

2017年度第1号
担当：天童支部



★山形県建築士会女性部委員会では入会者募集中です！建築界はまだまだ男社会、たまに女子会しませんか？★
★問い合わせは 山形県建築士会へ ☎023-643-4568 <http://www.yamagata-ken.org>★

平成29年度 山形県建築士会女性委員会 事業計画・役員名簿

平成29年度 事業計画

開催年月日	内容	備考
4月1日(土)	各支部女性委員長会議	鶴岡市「にこふる」
4月8日(土)	第1回東北ブロック女性委員会	仙台市
6月8日(木)	通常総会懇親会	山形市ハレスグランド
7月2日(日)	ふるさと探検隊part26	東根市(第3ブロック)
7月15～16日(金～土)	全国女性建築士連合会	東京都
7月25日(火)	合同委員会	山形市ハレスグランド
9月2日(土)	第2回東北ブロック女性委員会	福島県
10月-----	「あれこれ」1号発行	天童支部担当
12月-----	「あれこれ」2号発行予定	天童支部担当
11月-----	秋季研修会	第1ブロック担当
11月-----	青年大会	
12月8～9日(金～土)	全国大会	京都府
2018年2月----	「あれこれ」3号発行予定	天童支部担当

平成28・29年度役員名簿

ブロック	支部名	役員名	備考
1	鶴岡田川	栗本直美	会計
	酒田	芝田清子	委員長
2	米沢	村山紀子	
	長井	守屋由美	
	山形	原田江美子	副委員長
3	天童	清野由華	
	西村山	大泉みどり	
	村山	草刈めぐみ	
	新庄	金澤利示子	
担当理事		小山恵子	

平成29年度 第1回東北ブロック女性委員会

H28.4.8(土)仙台市にて

平成29年度第1回目の東北ブロック会議が4月8日(土)に仙台市で行われました。

東北6県の委員長さんとオブザーバーの方々が集まり、前年度の各県の活動報告を行った後に、東北ブロック単位の今年度の活動を話し合いました。

特に、秋田県は女性委員会発足から30年との事で「記念誌」を作られていました。女性活躍が声高に掲げられる今よりも、発足当時の先輩の方々の活躍の方がキラキラしているように思えました。後に続く私達も負けてはいられないなあ～！と思わずにいられません。

東北ブロックの大会は2年に一度の開催です。平成28年度は岩手大会がありましたので、今年度(29年度)は研修会となります。

今年度は福島県のその後を視察することに決まりました。9月2日(土)に避難解除になった浪江町を主に震災による原発事故後のその後を視察します。

まだまだ復興には遠い現実を実際に見て感じて、再度防災とエネルギー対策について考える糧にしていけたらと思います。

又、住宅の耐震改修もここにきて滞っている状態です。

安心と安全、秤(ハカリ)にかけられないこととはいえ、地震、大雨等の自然災害の記憶が色濃く残る今こそ、本気で取り組む課題ではないかと思われます。

(酒田支部 芝田 清子)



酒田支部女性委員会では、毎年6月と年明けの2月か3月に研修会を開催しています。研修のテーマや内容により女性委員だけでなく他部門の方々にも広く声を掛け、なるべく多くの方々に参加して頂き交流を深めようと奮闘しております。

今年度の第1回目は6月に『新潟の建物見学ツアー』を開催しました。

見学のコース

①新発田市新庁舎→ ②レーモンド設計の建物:カトリック新発田教会→ 豊栄市 安藤忠雄先生の建築3ヶ所: ③豊栄市立図書館・ ④保育園・ ⑤葛塚中学校→ 「潟博物館」でランチ→ ⑥「朱鷺メッセ」新潟市、「万代鮮魚センター」でお土産のお買い物

かなりハードなスケジュールのため、朝7:30総勢15名で酒田を出発、さながら遠足気分一路新潟へと向かいました。バスは順調に新発田市新庁舎に到着、ここからは快くご案内役をお引き受け頂いた、東北公益文科大学の先生お二人と合流ツアーの開始です。

①新発田市新庁舎

日曜にも関わらず職員の方が建設趣旨の説明と建物のご案内をしてくれました。庁舎の建て替えにあたり、数えきれないほど開催したという住民のワークショップでの意見が随所に取り入れられたと言うだけあり、市民に開かれた明るい庁舎で、閉庁後や休日も読書や学習に利用できる庁舎になっています。用が無くても行きたくなる庁舎でした。(8:30~20:00まで365日開庁しています。)

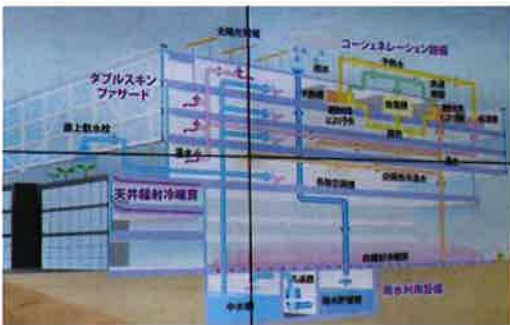


議場



屋上庭園

庁舎内にあるFM局



庁舎の省エネシステム

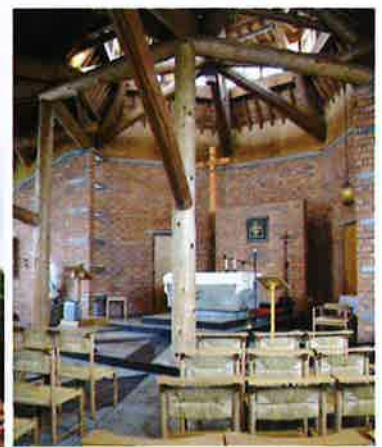


コンシェルジュカウンター



②アントニン・レーモンド設計の「カトリック新発田教会」

ここでは外観からは想像できないダイナミックな木造の小屋根組みに圧倒され、時代を経ても景観と調和した佇まいは建築設計の原点を思わせる建物でした。



そして一行は豊栄へ移動です。安藤建築3ヶ所をご案内頂いたのは、安藤忠雄先生の事務所に二十年以上お勤めされて、近年山形に帰郷し設計事務所を主宰され、公益大の准教授もされている矢野英裕先生です。設計者直々の解説付きとは何と贅沢でしょ？

③豊栄市立図書館

アプローチや高さ、街並みを考慮した図書館の外観、入退館の管理、一般人と子供達の住み分け、光を計算した空間構成、プライバシーに配慮した学習スペース等々、素敵な図書館で、とても20年も経ったとは思えないくらい上手に使用されていました。家具も全て安藤事務所のデザインだそうです。



④すぐ近くの保育園

安藤忠雄先生と言えばコンクリートのイメージなのですが、ここは木造の園舎でした。こちらもやはり街並みとの調和、見守りに配慮した園庭、子供のスケールに合せた高さ設計、保育園に行きたくない子供でも行きたくなるような、笑顔が絶えず楽しい声が容易に想像できるような園舎でした。

外観堰堤側



外観道路側



内観



⑤葛塚中学校

圧巻です！田園風景の中に壮大なスケールで建てられています。建設費などと野暮なことは無しにして、このような有名建築家の設計した学校で中学校生活を送ると言うことが、彼達に与える影響は何十億にもかえがたい物があると思います。安藤先生の建築にはデザインの素晴らしさの他に、何か得体のしれない『気・魂？』のようなものを感じました。紙面だけではご紹介しきれませんので是非HP等をご覧くださいませ。



つづいてバスは豊栄を後に新潟市へ。

⑥朱鷺(トキ)メッセ

ここで新潟の街を一望。ここは同行して頂いたもうお一人の先生、公益大学大学院教授の高谷時彦先生がお勤めしていた榎文彦先生の設計です。朱鷺メッセは酒田港のまちづくりスタジオで港の景観づくりの参考として見学コースに入れました。新潟港は信濃川の河口に位置し酒田港と最上川に似ているところがあります、でもこちらは政令指定都市、スケールが全く違って、酒田港はとても足元にも及びませんが、同じ潮の香りに少しホッとしました。



見学コースは無事終了。万代鮮魚センターで自由にお買い物。お天気も良く、歩いた歩いた。おまけに運転の心配も無きたら、これしかないですよ！【ビール】！

絶品海鮮丼と生ビールで乾杯している方々も数名。新潟は日本酒も美味しい！お土産は日本酒と酒の肴で決まり！重くなりかけていた足取りも軽やかに新潟を後にしました。途中日本海に沈む夕日を横目に酒田に到着したのは夜8:30。「明日は月曜日、仕事だの〜！」皆さん一日お疲れ様でした。

ご案内頂いた、施設の方々、ご同行の矢野先生と高谷先生に改めて感謝いたします。

(強行軍の上、夢中になって見学していたら、参加者集合写真を撮り忘れてしまいました！)

(文・写真:酒田支部 芝田 清子)

最初は、東根市大富の、「幼老複合施設」の見学です。

「大富保育園」は、東根ならではの、さくらんぼ畑に囲まれた、自然豊かな環境の保育園。老朽化による建替えて、民設民営とする東根市の公募による事業で、社会福祉法人コトリア会の運営により、特別養護老人ホームと隣接し、幼老複合施設として計画されました。幼児とホーム入居者が、お互い刺激しあえる環境づくりを感じます。

保育園の構造は、杉材を使用し、方杖架構が表しになっており、木造在来工法である事が強調されていました。8寸角の大黒柱が要所に設置され、子供達が木に触れる事が出来ます。広い園庭と、各部屋との境に空間を持たせた縁側があります。縁側は部屋とフラットに設置され、天候に左右されず、室内同様に走り回れるような空間。天気が悪い日でも持て余す事なく、子供達が遊んでいるのではと想像されます。のびのび遊べる子供達が羨ましい空間でした！

「特別養護老人ホームおとおみ」は、現在1期計画の定員60床、ユニット型個室でした。個室は、西の山々や園を見る事が出来る窓があり、自然や幼老複合施設である事を実感出来るようになっていきます。リビングに隣接するように、共同生活室と個室が隣接し、繋がりを感じられる設計がされているようでした。家具を持ち込む事が出来る為、造付けは最低限に、広さのある個室。自身で家具配置出来る自由度は、自分の部屋でくつろぎたい、という想いに配慮したものではないかと思えます。

「特養」は、個室ではなく相部屋が多い、個室に洗面・トイレの設置がないようではありましたが、内部の床は木質系複合フロアで、木製造作のベンチや格子があり、木目柄クロスを施したり、温かみのある内装でした。終の棲家とする入居者もある中、要所要所に快適さ、「自分」を大事にしている空間づくりが感じられました。これからの在り方を示唆しているような施設見学が出来る機会を頂き、有難うございました。

昼食。東根でパスタといえば「ペコリーノスペリオレ」ですね！移転して初めて来ました。民家を改修され、イタリアンなのに和風？な感じですが、味は変わることなく美味しく、ご馳走様でした。

午後は、まなびあテラスにて、アートクレイシルパー教室。シルバーアクセサリーの製作は初めてで、どんな仕上りになるかドキドキでした。今回は初心者向けに、葉っぱのペンダントをつくりました。

始めに大滝則子先生から、「時間が足りなくなる事もあるので、黙々と頑張りましょう」とお話があり、作業開始です。アートクレイシルパー（銀粘土）は、銀製品をリサイクルして生み出されたもので、焼き上げると純銀に変わります。色々なリサイクルがあるのだなと勉強になります。製作が始まると、皆さん、黙々と作業しています。ものづくりが好きな方が多いのだなと思いながら、黙々と…。焼き上がり後、磨けば磨くほどピカピカとなり、自分で作る楽しさを実感しました。やはりつくる事は楽しいと再認識させて頂き、有難うございました！

(長井支部:小笠原華奈子)

